

## 児童労働の子供とご飯を十分に食べられない子供を フェアトレード商品で救う

舘下陽奈乃

### 1. はじめに

私は高校1年生のとき、アフリカや日本の児童労働について調べた。その結果、アフリカの子どもたちは1日中、重労働をしているのに、見合った対価を得られていないことや、日本でも、15.6%の子どもたちは相対的貧困と言われる状況にいて、ご飯を十分に食べられていないことが分かった。相対的貧困とは、国民の年間所得の中央値の50%に満たない所得水準の人々のことである。私はこのようなアフリカの子どもたちと日本の子どもたちの両方を助けたいと考えた。

そこで、私はフェアトレード商品に着目した。フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動のことである。フェアトレード商品の生産者が安定した給料を得ることができる仕組みについては、まず、生産者が生産した商品を輸入業者が購入する際の価格は「フェアトレード最低価格」として定められている。どんなに国際市場で取引価格が下落しても、輸入業者はこの最低価格以上を生産者に保証しなければならないとされている。また、プレミアムも与えられる。プレミアムとは、生産者の組合や地域の経済的・環境的・社会的開発のために使われる資金である。これの用途は生産者たちによって決定され、小学校や病院の建設、機材の購入などに使われている。このようなことから、フェアトレード商品を購入することは、それだけで現地の人々のためになっている。また、私だけでなく周りの人たちも行いやすそうだと考えた。

### 2. 仮説

ご飯を十分に食べられない日本の子どもにフェアトレード商品を利用すれば、児童労働させられているのに仕事に見合った対価を得られていない海外の子どもを減らす助けになるのではないかと考えた。

### 3. 検証内容とその結果

検証は、(1) 日本の子どもたちのためにできること、(2) 海外の子どもたちのためにできることに分けて行った。

#### (1) 日本の子どもたちのためにできること

十和田こども食堂実行委員会と一緒に子どもたちに料理を提供した。本当は、この料理にフェアトレード商品を使いたかったが、メニュー開発までの時間がなく、フェアトレー

ド商品を使うことはできなかった。しかし、幼児から小学生までのたくさんの子どもたちに料理を提供できたことは良かった。

## (2) 海外の子どもたちのためにできること

第1に、1年生のときに児童労働の現状について学んだ。第2に、フェアトレード商品を購入した。思っている以上に値段が高くなかったことに驚いた。私が購入したもの以外にもトップバリュやミニストップなどでも販売されている。第3に、Miles というスマホアプリで寄付を行った。Miles は、移動する時にスマホを持ち歩くだけでポイントが貯まり、そのポイントで寄付をすることができる。持ち歩くだけでできたため、とても簡単に始めることができた。



Miles のロゴマーク



ドリーム缶パニーの自動販売

## 4. たくさんの人に知ってもらうために

これらの活動以外にも、ドリーム缶パニーという事業に参加した。ドリーム缶パニーとは、弘前青年会議所が主催する事業で、グループで擬似的な会社を作り、自動販売機を使用して実際に販売する起業体験ができる。そこで私たちのグループは森林・人権・気候・生活水準の4つの基準を満たしている商品に与えられるレインフォレストアライアンス認証を受けたドリップコーヒーを販売した。フェアトレード商品は、ウクライナ情勢により販売できなかったが、とても良い経験になった。

## 5. 展 望

最後に、これから私が行っていきたい2つの活動についてである。

第1に、こども食堂でフェアトレード商品を利用した料理を開発することである。前に調べていたときは、料理として提供する物としてふさわしい物を見つけることができず、メニュー開発が失敗してしまった。その後、米のフェアトレード商品を見つけ、こども食堂の方に提案してみたが、助成金などを使用して行う支援事業であるため、予算が足りず、米を使用することはできなかった。そこで、次は、いつもこども食堂で配布しているピザの上にかける調味料を提案してみたい。

第2に、フェアトレードと消費者について調べていきたい。以前、学校で発表した際、多くの人がフェアトレード商品についてたくさんの疑問を抱いていることが分かった。これからは身近な人たちからフェアトレード商品について知ってもらうために、フェアトレード商品を学校などに持って行って、友達に紹介してみたい。

今後、これら2つについて調べ、仮説が正しいことを証明できるように探究を続けていきたい。

(館下陽奈乃 弘前中央高等学校)